

中学校用教科書の採択基準

教科用図書の採択は、次の各項について適切であるかを検討した上で行うものとする。

1 教科の目標からの配慮

2 生徒の学習活動への配慮

- 内容の程度
- 学習活動への誘意性

本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、
写真、図表、配色、フォント、コントラスト、
レイアウト等

3 学習指導への配慮

- 単元・題材の配列
- 内容の扱い

「知識及び技能の習得」のための工夫、
「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、
「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、
関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、
まとめと評価

4 全体的な特色

- 上記1～3及び体裁を含めた全体的な特色

中学校用教科用図書調査観点

【国語】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 分量・難易の程度が、生徒の実態に応じるよう配慮がなされているか。 (2) 学習への関心・意欲を喚起し、生徒の発達の段階に即して適切な話題を取り上げたり、話や文章の種類などを調和的に扱ったりするなど、教材選定への配慮がなされているか。 (3) 生徒の言語活動をふまえて、主体的・対話的な学習を促す工夫がなされているか。 (4) 文字の大きさ、字体、行間、字間は適切か。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、図表、写真等が鮮明で、理解を助け、思考力や想像力を高めるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 単元の配列が、生徒の言語生活や系統的な指導に照らして適切か。 (2) 単元相互の関連性や連続性が、有効に図られているか。 (3) 主体的に学習に取り組みながら「言葉による見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら各領域の言語活動が十分行われるよう配慮がなされているか。 (4) 「知識及び技能」が、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」と関連をもち、系統化されているか。 (5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう配慮がなされているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書の調査観点

【書写】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 文字・語・文・文章・書体等は、発達段階に応じているか。 (2) 生活経験に即し、文字に対する興味・関心を高める学習となるよう配慮がなされているか。 (3) 生徒の気付きを大切にし、必要な技能を身に付けられるよう配慮がなされているか。 (4) 全ての生徒にとって見やすいように、文字、さし絵、写真、図表、コントラスト等などが鮮明で適切に組み込まれているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 点画・筆順・文字の大小、書体などからみて、単元の配列が適切であるか。 (2) 硬筆、毛筆の基礎的な技能がわかりやすく段階的に配列され、学年間の関連の配慮がなされているか。 (3) 日常生活に役立ち、文字に関わる経験を豊かにできる題材など、生徒の主体的な学習を育てる題材が配列されているか。 (4) さし絵、図表、写真、参考作品などが、指導に生かせるよう工夫がなされているか。 (5) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書 の 調査 観 点

【社会】

採 択 基 準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 程度、分量は、生徒の実態からみて適切か。 (2) 生徒の関心・意欲を喚起し、学びの深まりを導く展開への工夫がなされているか。 (3) 生徒自ら課題をもち、主体的・対話的に学習できるよう工夫がなされているか。 (4) 観察や調査・見学などの活動やそれに基づく表現活動を進めることができ、社会的事象に対する見方・考え方を働かせる配慮がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、統計資料、地図、年表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 基礎的・基本的な内容の厳選、単元の適切な配列がなされているか。 (2) 問題から問題へと連続的に追究できるように単元構成がなされているか。 (3) 主体的に取り組みながら、「社会的な見方・考え方」を働かせ、先哲の考えを手掛かりに思考したり、相互に関わり合ったりしながら、社会的事象の特色や関連、意味を多角的に考える力を養う配慮がなされているか。 (4) 社会に見られる課題への配慮がなされているか。 (5) さし絵、写真、統計資料、地図、年表等の扱いが学習指導の展開に生かせるものになっているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書の調査観点

【地図】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 地域区分、地名、産物等の表記の分量と選択が適切で、読み取りやすい工夫がなされているか。 (2) 問題追究の過程で、地図を読んだり、進んで活用したりすることができるよう工夫がなされているか。 (3) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、地図の段彩や写真、絵、統計資料等の配色やコントラストが鮮明で分かりやすく、親しみやすく学習できるよう配慮がなされているか。 (4) 地図や写真、絵、統計資料等は、正確で新しく、その提示が内容に即して適切か。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 基本地図の配列が適切であり、それ以外の自然、人文各種地図が、各学年の単元展開に効果的に使用できるよう配慮がなされているか。 (2) 各種地図が、関連的に考察できるよう配慮がなされているか。 (3) 現代社会の姿や課題への配慮がなされているか。 (4) 写真、絵、統計資料、地図等の扱いが学習指導の展開に生かせるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書の調査観点

【数学】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 発達段階に応じ、生徒の多様な考え方や数学的な処理の仕方を生み出せるように配慮がなされ、分量も適切か。 (2) 興味・関心を喚起し、自ら問題を見出し、解決するための構想を立て、実践し、その過程や結果を評価・改善するなどの数学的活動になるよう、内容構成への配慮がなされているか。 (3) 現実の世界と数学の世界それぞれにおける問題発見・解決の過程が相互に関わり合いながら、生徒が目的意識をもって、主体的・対話的に学習できるよう、展開の工夫がなされているか。 (4) 既習の学習内容を繰り返し学習ができるよう配慮がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、資料、図表等の意図が明確で、生徒の興味・関心が高まるよう工夫がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 単元の構成や配列が、目標に照らして適切か。 (2) 数と式、図形、関数、データの活用の内容が生徒の発達に即して系統化され、基礎的・基本的な内容の扱いが適切か。 (3) 主体的に活動しながら「数学的な見方・考え方」を働かせ、事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、相互に関わりながら根拠を基に筋道を立て、論理的、統合的・発展的に考えられるよう配慮がなされているか。 (4) 数と式、図形、関数、データの活用の各領域を相互に関連付けたり、内容を補充・発展させたりして、個に応じた指導に生かせるよう配慮がなされているか。 (5) 用語、記号、記述が数学的に正確であり、さし絵や資料等が指導に生かせるものになっているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書の調査観点

【理科】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 内容の程度が生徒の発達に即しており、その実態に応じるよう配慮がなされているか。 (2) 生徒の生活経験や地域性と結び付いた問題の解決に生かすことができるとともに、理科の見方・考え方を働かせながら探究の力を身に付ける展開の仕方への工夫がなされているか。 (3) 生徒が興味・関心をもち、主体的・対話的に探究できるような配慮がなされているか。 (4) 例示された観察・実験の方法や図が適切で正確であり、かつ安全性への配慮がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の学習意欲を高めるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 目標に照らして、単元の構成や配列が工夫されているか。 (2) 「理科の見方・考え方」を働かせ、問題を科学的に解決することができるように、内容や単元の関連性や連続性、系統性が図られているか。 (3) 理科で育成を目指す資質・能力を身に付けることができるよう、主体的に取り組み、事象や自然と対話し、互いに関わり合いながら、具体的・体験的に学習が行えるように展開が工夫されているか。 (4) 観察・実験、ものづくりなどが、安全面や自然環境に配慮した位置付けになっているか。 (5) さし絵・写真・図表等の内容が適切かつ正確であり、指導に生かせるものになっているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書 の 調査 観 点

【音楽（一般）】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 楽曲や音楽活動の程度が学年の発達段階に応じるよう配慮がなされているか。 (2) 生徒の興味・関心にそって音楽活動がなされ、楽曲への理解が深まるような展開の工夫がなされているか。 (3) 生徒の主体的・創造的な音楽活動に必要な配慮がなされているか。 (4) 生徒が多様な音楽活動を楽しみながら、楽曲のよさや美しさを感じ取ることができるような工夫がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって見やすいよう、楽譜、さし絵、写真、配色等が鮮明で、音楽を視覚化して表すよう工夫がされる等、学習への意欲を高め、内容の理解を深めるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 基礎的・基本的な内容が無理なく身に付くよう系統的な題材配列がなされているか。 (2) 内容の関連や発展を生かした学習展開の工夫がなされているか。 (3) 主体的に取り組みながら「音楽的な見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら、多様な音楽活動を体験できるよう工夫がなされているか。 (4) 地域の特性や生徒の生活経験及び、個人差に応じた指導ができるような弾力性をもっているか。 (5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう工夫がなされているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等

「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価

中学校用教科用図書の調査観点

【音楽（器楽合奏）】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 楽曲や音楽活動の程度が学年の発達段階に応じるよう配慮がなされているか。 (2) 生徒の演奏技能に応じ、意欲的に器楽学習へ取り組めるよう配慮がなされているか。 (3) 生徒の主体的・創造的な音楽活動に必要な配慮がなされているか。 (4) 生徒が多様な音楽活動を楽しみながら、楽曲のよさや美しさを感じ取れるよう工夫がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって見やすいよう工夫され、楽譜、さし絵、写真、配色等が鮮明で、学習への意欲を高め、学習活動に役立つよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 基礎的・基本的な内容が無理なく身に付くよう系統的な題材配列がされているか。 (2) 楽器や演奏形態に応じて内容が精選されており、他分野・他領域との関連を図れるよう工夫がなされているか。 (3) 主体的に取り組みながら「音楽的な見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら、多様な音楽活動を体験できるような工夫がなされているか。 (4) 施設・設備や環境に即応し、地域の特性や生徒の生活経験及び、個人差に応じた指導ができるような弾力性をもっているか。 (5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるような工夫がなされているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書の調査観点

【美術】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1) 題材の造形的、技能的な内容が生徒の発達段階に適するよう配慮され、個人差に応じた幅をもっているか。 (2) 生徒がイメージを豊かにふくらめながら造形活動をするよう学習活動に工夫がなされているか。 (3) 生徒の興味・関心・意欲を高め、主体的・対話的に活動できるよう、題材や導入の工夫がなされているか。 (4) 用具の使い方など安全性への配慮がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で、創作への意欲を高めるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1) 領域の目標に即し、基本と発展を考慮し、全学年を通して、関連的・連続的に扱える題材配列になっているか。 (2) 表現と鑑賞を相互に関連させた指導ができるよう工夫がなされているか。 (3) 主体的に活動をしながら「造形的な見方・考え方」を働かせ、相互に関わり合いながら、主題や表現方法について考え、作品などに対する見方や感じ方などを広げ、深められるよう配慮がなされているか。 (4) 思いを具体的に表現するために必要な、技法、技術や材料、用具に関する資料や解説は適切であるか。 (5) 学習を豊かにし、個に応じた表現を助ける資料として、図版、写真等が多面的で、生徒の学習展開にとって適切なものになっているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書調査観点

【保健体育】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 分量・内容・程度が生徒の心身の発達段階に応じて配慮がなされているか。 (2) 生徒の運動経験や学習経験、興味・関心に応じ、主体的・対話的に課題の解決に向けて学習ができるよう工夫がなされているか。 (3) 実感を伴う理解が図られるよう、体育分野や保健分野、他教科、生活等への関連について配慮がなされているか。 (4) 用語の解説や記号、計量単位などが適切で、見出しや文章表現が分かりやすく工夫がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で学習意欲を喚起するように配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 体育理論では、内容の明確化と体系化が図られているか。保健分野では、心身の健康や安全に関する事項の系統化が図られているか。 (2) 体育理論、保健分野ともに、各内容の配列や関連付けに工夫がみられるか。 (3) 生徒が「体育や保健の見方・考え方」を働かせながら、主体的に、相互に関わり合いながら活動に取り組めるように、多様な指導方法及び学習形態の工夫がなされているか。 (4) 体育理論では、知識の重要性を実感できるように配慮されているか。保健分野では、心身の健康や安全について配慮がなされているか。 (5) さし絵、写真、図表等の内容が適切で正確であるか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書の調査観点

【技術・家庭（技術分野）】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	(1) 生徒の発達段階や生活実態等に配慮した題材配列になっているか。 (2) 生活や社会の中から問題を見だし、生活を工夫し創造できるよう、題材構成の工夫がなされているか。 (3) 生徒が興味・関心をもって追究し、生活を実感的にとらえられるよう配慮がなされているか。 (4) 材料と加工の技術、生物育成の技術、エネルギー変換の技術、情報の技術の内容構成において、安全面や衛生面への配慮がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	(1) 学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるように組まれているか。 (2) 生徒の生活や社会との関連性、社会変化への対応に配慮した題材の配列となっているか。 (3) 「技術の見方・考え方」の視点で生活事象を捉え、主体的に相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態にあわせた題材の取扱いがなされているか。 (4) 題材が集団や個別で学ぶ内容、社会との連携に発展する内容で構成されているか。 (5) さし絵・写真・図表等の内容が適切かつ正確であり、時代の進展に応じる内容上の配慮がなされているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書 の 調査 観 点

【技術・家庭（家庭分野）】

採 択 基 準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 生徒の発達段階や生活実態等に配慮した題材配列になっているか。 (2) 生活や社会の中から問題を見だし、生活を工夫し創造できるよう、題材構成の工夫がなされているか。 (3) 生徒が興味・関心をもって主体的・対話的に追究し、家庭生活を実感的にとらえられるよう配慮がなされているか。 (4) 家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境の内容構成において、安全面や衛生面への配慮がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるように組まれているか。 (2) 生徒の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるように配慮がなされているか。 (3) 「生活の営みに係る見方・考え方」の視点で生活事象を捉え、主体的に、相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態に合わせた題材の取扱いがなされているか。 (4) 題材が集団や個別で学ぶ内容や家庭との連携に発展する内容で構成されているか。 (5) さし絵・写真・図表等の内容が適切であり、また、時代の進展に応じる内容上の配慮がなされているか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

中学校用教科用図書調査観点

【外国語】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 内容の程度及び各課の分量が、生徒の発達段階に応じるよう配慮がなされており、適切であるか。 (2) 実際に英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動が展開されるよう、題材や内容構成への配慮がなされているか。 (3) 生徒の興味・関心・意欲を喚起し、主体的・対話的な学習を促すよう、題材や問題提示に工夫がなされているか。 (4) 既習事項を活用しながら、音声による言語活動をはじめ、5領域を関連付けた学習ができるよう配慮がなされているか。 (5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の学習意欲を高め、理解や表現を助けるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 単元の構成や配列が、目標、内容項目に照らして適切であるか。 (2) 言語材料の配列や、相互の関連付けが適切であるか。また、言語活動をする際に、必要に応じて言語材料について理解したり練習したりするための指導が含まれているか。 (3) 具体的な課題等が設定され、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に表現することができるよう配慮がなされているか。 (4) 主体的に取り組みながら、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせて言語活動を行う際、言語の使用場面や言語の働きについて配慮がなされているか。 (5) さし絵、写真、図、書体等が適切かつ正確であり、単元のねらいや本文との関連が密接であるか。 (6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色

中学校用教科用図書の調査観点

【道徳】

採択基準	観 点
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が分かりやすく盛り込まれているか。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1) 内容、程度が生徒の発達の段階に応ずるよう配慮がなされているか。 (2) 関心・意欲を喚起し、道徳的価値の追求に結び付く工夫がなされているか。 (3) 道徳的価値の理解を自分との関わりで深め、主体的・対話的に学習できるような工夫がなされているか。 (4) 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習を通して、多面的・多角的に考えることができるよう配慮がなされているか。 (5) 文字の大きさ、文字数、レイアウト等は生徒の発達段階に応じて配慮がなされているか。 (6) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、問題がとらえやすくなるよう配慮がなされているか。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1) 生徒の発達の段階に即して、それぞれの内容項目の教材が適切に配列されているか。 (2) 生徒が主体的に、相互に関わり合いながら取り組めるよう、地域や生徒の実態に応じ、各学校で創意工夫して適切な指導計画が作成できるよう配慮がなされているか。 (3) 「道徳科における見方・考え方」を働かせ、現代的な課題など物事を多面的・多角的に考えるために配慮がなされているか。 (4) さし絵、写真等の扱いが学習指導に生かせるものになっているか。 (5) 学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握できるよう工夫がなされているか。
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。

本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等